

セボネ

タガヤ ランティア ネットワーク
Setagaya Volunteer Network

特集

P.2-5

手話言語で「夢」を届ける
手話パフォーマンス「きいろぐみ」の歩み



まちの市民力

P.6 ～路上での表現に挑む～ 路上演劇祭 Japan



せたがやキラリ人

P.7 雑居まつりに新しい風を吹かせたい 福重 佳代子さん



おたがいさまビュー

P.8-P.11

北沢ボランティアビューロー改修工事に伴う長期休館のお知らせ
ボランティア募集、講座・イベント・その他お知らせ



特集

手話言語で「夢」を届ける 手話パフォーマンス「きいろぐみ」の歩み

取材／世田谷ボランティアセンター

近藤 純子
鈴木 浩紀

長年、世田谷ボランティアセンターを活動場所としている「きいろぐみ」は、手話言語を用いたパフォーマンスを全国の舞台で繰り広げています。今回は、なぜ手話言語を使ったパフォーマンスに至ったか、なぜ「きいろぐみ」という団体名になったのかなど、代表の南さん、パフォーマンスのことがききさん、いくみさんにインタビューしました。

動いています。当時、私と手話サークルで一緒に勉強していた、きこえる人2人、きこえない人1人の、たった3人でスタートしました。そこから、「私たちも一緒にやりたい」と手を挙げてくれる方も増えて、今では役者20人、スタッフ10人の団体になりました。

——団体の運営はどのようにされているのでしょうか？

南…出演者には、舞台に出たときに出演料をお渡ししています。きいろぐみのプロデュース会社として「手話あいらんど」という株式会社を設立して運営しています。手話言語の教室、本の出版や

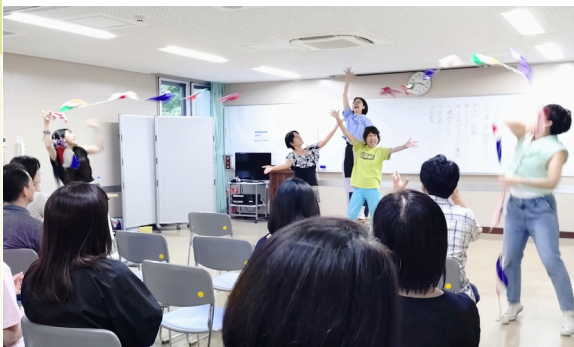
■きいろぐみの始まり

まず、「きいろぐみ」設立の経緯を教えてください。

南…「きいろぐみ」は1989年に立ち上げました。今年で36年になります。設立してからはずっと任意団体として活



手話パフォーマンスきいろぐみのマスコットキャラクター
「耳のきこえない ろうのとら 【手話とらくん】」



手話パフォーマンス講座の様子。体全体を使った表現も学べるのも「きいろぐみ」ならでは。

ドラマの手話監修などを行っている
て、表現活動の幅を広げています。

■ 舞台上立つ人が「手話をする」
という発想

—— 団体名に手話パフォーマンス
と付いていますが、そもそも、な
ぜ「手話パフォーマンス」という
形に？

南：理由はいくつかあります。ま
ず一つ目は、手話表現は、きこえ
る人には「空中に浮かぶ風景描写」

のように見えるところがあるん
です。言葉を超えた表現として、き
こえない人だけでなく、きこえる
人にも感動を届けられると思って
います。

二つ目は、手話通訳者としての
経験からです。以前、ロックミュー
ジシャンの手話通訳をしたときに
「ミュージシャンの僕より目立つ」
と言われてしまって（笑）。演者
の世界では、手話通訳が演出の邪
魔になることもあるとその時に気
づきました。

そして三つ目。ある女性講師
の手話通訳をしたとき、その方と
すぐ息が合って「やった、うま
くいった！」と思ったんです。で
も終演後に、観覧していたろうの
女性から「覚えてるのは講師の
顔ではなく、あなたの顔なのよ」
と言われてハッとしました。それ
なら、「最初から演じる人が手話
表現をするほうが自然じゃない
か」と。そこから「手話で演じる
舞台」を本格的に始めたんです。

■ 目で「聴き」、耳で「感じる」
—— 手話表現で演じる舞台ってな
かなか想像できないのですが、ど

ういった舞台なのでしょう？

南：手話パフォーマンスきいろ
ぐみは、手話ミュージカル・手話
による朗読劇・手話ライブなどで
全国を回っています。多くの人は、
手話表現で演じると聞くと
「きこえない人のための活動だろ
う」と想像します。でも、私たち
はその逆。ろう者と手話の世界か
ら、きこえる多くの方にこそ、魅
力を感じてもらいたいと思っています。

ろう者は、自身の言葉「手話言
語」で語り歌い、同時に聴者の
キャストが「声のセリフ」を伝え
ています。手話と音声の2言語舞
台なのです。

■ 手話言語との出会い

—— 南さんが手話を始めたきつ
かけは？

南：芸術系の大学に通っていた
とき、きこえない学生が多かつた
んです。仲良くなって自然と覚え
ました。上手くなった理由・・・
それは「ケンカ」です（笑）。気の
強いろうの女の子がいて、文句を
言いたくて必死で練習しました。
感情と手がすぐ近くにある——

それが私の手話の原点かもしれない
せん。

■手話は言語であり、リズム

—例えば英語だと「発音がいいね」ということがあると思うんですが、手話が「うまい」とは、どういうことでしょうか？

南…言語的なリズムがいいと、うまいと感じますね。でも単語を並べただけでは伝わらない。やはり「ろっ者と関わっているか」が大事。手話も言語ですから。地域ごとに方言もありますしね。



写真左から) 南さん、いくみさん、ことぶきさん

■「きいろぐみ」という名前に込めた思い

—「きいろぐみ」という名前にも意味があるそうですね。

南…幼稚園のとき、私は「きいろぐみ」だったんです。本当は「赤がいいな」と思っていたけど、結果的に「きいろ」でたくさんさんの喜びを学びました。きいろって金メダルやヒマワリ、ひよこなど「希望」や「成長」の色。いちばん好きな色ではなかったけれど、今はとても気に入っています。

■地域に支えられて

—世田谷ボランティア協会とはどんな関わりがありますか？

南…ボランティア募集や、会議室の利用など、設立当初からお世話になっています。障害者プロレスの「ドッグレッグス」も同じく世田谷ボランティア協会からスタートした団体ですよ。世田谷ボランティア協会は、地域でこぼれ落ちがちな活動を丁寧に変えてくれる、すごく貴重な存在です。地域の思いをしっかり受け止めて見守ってくれていると感じています。

■舞台は「三言語」で広がる

—とても嬉しいお言葉に感謝します。活動内容について教えてください。

南…メインはインスタグラムで最新情報を発信しています。最近、手話言語条例や手話言語への理解イベントに呼んでもらい公演することが増えました。最近では、山口、富山、三重、静岡、山梨、岡山、山形など各地で公演してきました。以前、韓国でも公演しました。

1ステージは30分から2時間まで幅広いですが、特徴は「三言語舞台」。手話言語と音声言語の両方で楽しめるんです。きこえる人は音を聴きながら手話表現を見て、きこえない人は手話言語でストーリーを追う。どちらにも届く舞台だと思っています。

■メンバーが語る、きいろぐみとの出会い

—メンバーのお二人にもお話を伺います。きいろぐみに参加したきっかけは？

ことぶき…私は、きいろぐみ代表の南の本『この手が僕らの歌声になる』を読んで感動したのがきっかけ。

かけです。自分が舞台に立つことで、「世界が広がるよ」、「もっとアピールできるよ」と、ろうの仲間 に伝えたいと思い参加しています。

いくみ・私は中途失聴です。音楽が大好きで、ピアノやサクソフを していたのですが、きこえなく なって「もう自分には無理だ」と 思っていました。でも、友達から きいるぐみの舞台に誘われて観覧 したときに、手話言語で歌う姿に

「音楽を見た」気がしたんです。「手 話言語で音楽を表現するって素敵 だな」と思い、参加を決めました。



手話あいらんど公式 YouTube チャンネル
「手話あいらんど TV」
2008 年から手話に関するコンテンツを継続的 にアップしている。

■ ろう者を取り巻く環境の変化
30 年前と今で、ろう者への理 解は変わったと感じますか？

いくみ・すごく変わったと思いま す。私が 20 歳で失聴した頃（15 年 前）は、手話表現をしているとジ ロジロ見られました。でも今は 「私、手話勉強してます！」って 声をかけてくれる人がいます。き いるぐみの YouTube チャンネル を見た人が電車などで話しかけて くれることもあります。世の中、 ずいぶん変わりましたね。

ことぶき・僕が子どもの頃ろう学 校では、手話表現は禁止されてい て口話ばかり教えられました。補 聴器も大きくて、からかわれる こともありました。でも今は、き こえる子ときこえない子が一緒に 遊んでいるのを SNS で見る時代 になりました。すごくいい方向に 変わっています。

■ これからの夢

最後に、これからの目標を教 えてください。
いくみ・私は活動して 10 年になり ます。今はまだ呼んでくださるス

テージが少ないので、もっと多く の人にきいるぐみを知ってもらい たい。手話言語で歌って踊って、 伝え続けていきたいです。演技力 も磨いていきたいですね。

ことぶき・私は来年で 20 年。これ からもお客さんと一緒に盛り上が れる舞台を作っていきたいです。 ゆくゆくは、世界にも通じる作品 にしたいですね。

南・手話言語を使う TV 出演者も 増えました。これからは、裏方の スタッフにもろう者が増えていっ てほしいです。みんなが手話言語 を使う社会にしたいですね。手 話って「まじめ」「福祉」という イメージが強いけど、もっと「お 笑い」や「楽しい」手話作品が増 えればいいと思っています。

* * *

きいるぐみは、手話言語を「伝 える」だけでなく「感じさせる」 表現として舞台に立ち続けていま す。言葉を超えて心をつなぐ、そ の手の動きは、これからも多くの 人に「夢」を届けていくでしょう。

～路上での表現に挑む～ 路上演劇祭 Japan



毎年4月に烏山区民センター前広場で開催されている「路上演劇祭 Japan」。みなさんはご覧になったことがあるでしょうか。メキシコの路上演劇をモデルにした、プロアマ・年齢・障害・言語を問わず出る人・見る人みんなでつくる演劇祭です。2001年に始まり、コロナで数回中止になったことを除き、ほぼ毎年開催されています。

演劇祭とは言っても、固定の客席や舞台があるわけではなく、広場に表現する人とそれを見る人がいるだけです。演劇・音楽・ダンス・朗読など、路上で表現したい、伝えたい気持ちがあれば誰でも出演者として参加できます。

今回、副実行委員長をされている

萩原ほたかさんにお話を伺いました。萩原さんは「お芝居デリバリーまりまり」として、路上演劇祭に複数回出演経験があります。

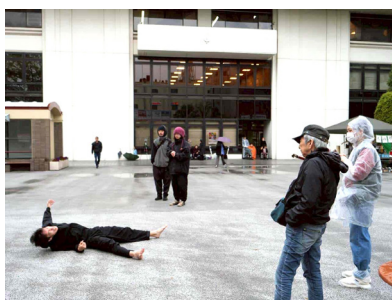
萩原さんによると、来年4月の開催に向けて実行委員会が動き出しており、ちょうど参加者を募集しているところだそうです。ただ、出演のためだけの参加ではなくて、路上でやるからこそその面白さを見つけ、一緒に路上演劇祭を作っていくメンバーを募集したいとのこと。

どうしてこうした演劇祭に関わるのか、その理由として萩原さんは、路上で演劇をしてみたら新たな世界が開けたからと言います。普段は、注文を受けてお芝居会を「出前」しているのですが、楽しむために来た人たちに見せるのですが、路上では通りすがりの人や休んでいる人など様々な人がいて、誰にも頼まれていないところや難しさを知ったそう。

しかし、路上は他では味わえない面白さがあります。劇場は夢の場だけど、路上は現実の場。そこに立つと同じ表現も、意味が変

わってくる。そのエキサイティングさがたまりません。出演が一度きりの人もいますが、それでは路上の魅力が理解できないまま終わることも多く、もったいない。何年か参加して、毎年作戦を練り、路上ならではの魅力をとことん味わって欲しいと言います。

来年の開催日は、4月11日(土)、12日(日)。一緒に路上演劇祭を作り上げることに興味のある方はぜひ路上演劇祭のSNSを確認し、実行委員会に参加してみてください。もちろん本番当日の観覧も大歓迎です。どんな表現が出るか楽しみにしつつ、出演者と共に路上演劇祭を盛り上げましょう。



<路上演劇祭 JAPAN の各 SNS アカウント>

X : <https://x.com/rojoengekisai>

Facebook : <https://www.facebook.com/rojoengekisai>

Instagram : <https://www.instagram.com/rojoengekisai>

1975年に第1回目が開催された雑居まつりは、今年50周年を迎えました。運営の中心を担う事務局メンバーの一人である福重さんは、27年前ひきこもりだった大学時代に雑居まつりと出会いました。「普通」からはみ出した自分の人生をどう歩むかと悩んでいた時、手話で会話する人や車いすの人、弱い立場や守られる側の子どもたちが参加していて、「普通」の人たちがまつりをつくっていることを知り衝撃を受けました。

大学の卒業制作のテーマに「雑居まつり」を選んだことから福重さんもまつりに参加しましたが、卒業後は仕事も忙しくなり、一時は雑居まつりから足が遠のいていました。



雑居まつりに
新しい風を吹かせたい
福重 佳代子さん
ぶくしげ か よ こ

再び雑居まつりに参加するきっかけとなったのは、3・11でした。東北が壊滅的な被害を受けるなか、勤めていた会社は震災の被害により売上が急増して潤い、震災で多くの人の命が失われているという話を話せない雰囲気を感じました。そんな中、被災地の人たちのことを見て見ぬふりをしてのうのと生きている自分は価値のない人間に思えました。しかし、その後、雑居まつりのことを思い出し連絡し、避難していた子どもたちの「青年の家」へボランティアに行きました。

1年後、勤めていた会社から離れ、現在も勤める国連NGO団体に転職した福重さん。雑居まつりでは、企業のように「あなたはいくらの売上をだして会社に貢献できるの？」と問われるのではなく、久しぶりに戻った自分に対してずっと自然に受け入れてもらえたことを今でもよく覚えています。そこは、「立派な」人や企業の役員がいるのではなく、障がいのあるなしに関わらず、「普通」の人

達がみんな一緒に雑居まつりをつくっている、そこに自分もいていいのだと思えたことに感動したといえます。

50年を迎え参加団体も事務局も高齢化が進み、雑居まつりの存続が難しくなる中、今後の雑居まつりについて福重さんの思いを聞きました。「社会で障がい者の存在が見えないことが気になっていきます。以前に比べ実行委員会に参加する車いすの人が減ったこともあり、障がいがある人や子育てをしている人たちがもっと参加しやすくなるために仕組みを変えたいと思っています。」

福重さんにとって雑居まつりで大事にしているのは、お金ではなく「命、そして人とのつながり」です。「自分が戻った時にいつものように受け入れられたように心のバリアフリーを広げもっと参加しやすい場にしていきたい、さらにみんなの居場所となるような雑居まつりをまた新たな形でつくりたい」と思っています」と熱い胸の内を語ってくれました。

しもうまボランティア「てあみときっての会」に参加してみませんか？

だれでも参加できるボランティアの集まり「しもうまボランティア」では、毎週火曜日に編み物をしたり、使用済み切手整理のボランティア活動を行なっています。どなたでも参加していただける集まりで、ボランティアが初めてという方も大歓迎です。

まずは見学にいらしてみませんか。お待ちしております！

- 日時／毎週火曜日（祝日を除く）14時～16時（出入り自由）
- 場所／世田谷ボランティアセンター会議室（下馬 2-20-14）
- 問合せ／世田谷ボランティアセンター 担当：小畑・近藤・原口
TEL：03-5712-5101

小学4年生男子の登下校付き添いボランティアを募集

特別支援学級に通う男子児童が登下校に付き添っていただけるボランティアの方を探しています。ご家庭の事情でお母さんが毎日付き添うのが厳しくなりました。週1回でも、朝の登校時だけでもお手伝いいただけるとありがたいです。小学校は自宅から徒歩10分圏内。お近くの方、ぜひご協力をお願いします。詳細はお問い合わせください。

- 曜日／月～金曜日（小学校の長期休みを除く）
- 時間／①登校：用賀中学校近くのご自宅を8時5分に出発
②下校：授業終了後すぐ下校。授業終了は14時5分～15時10分の間（曜日による）
- 問合せ／玉川ボランティアビューロー 市古（いちご）
TEL：03-3707-3528 メール：tamabora@otagaisama.or.jp

小学3年生といっしょに勉強をしてくれる女性を募集

駒沢公園近くにお住まいの小学3年生の女の子が特に漢字で苦戦しています。明るい女の子です。宿題などに楽しく取り組めるよう、女の子のペースに合わせて一緒に勉強をしてくれる方のご連絡をお待ちしています。詳細はお問い合わせください。

- 日時／月・火・木・金曜の16時～17時（月に2～4回 1回1時間）
- 場所／自宅
- 交通／東急田園都市線駒沢大学駅
- 条件／女性（数名募集）、交通費応相談
- 問合せ／玉川ボランティアビューロー 担当：市古（いちご）
TEL：03-3707-3528 メール：tamabora@otagaisama.or.jp

子ども食堂でのボランティアを募集

瀬田交差点近くの『おでかけひろばまーぶる』で子ども食堂を月1回開催しています。地域の人みんなでわいわい食べる『ごはん会』です。メニューはまーぶる特製カレーです。調理や子どもたちの見守りに力を貸していただけませんか？ お近くにお住まいの方のご協力をお願いします。一緒にカレーを食べましょう。詳細はお問い合わせください。

- 日時／おおむね第1金曜日 ①調理：13時30分～16時30分（時間は応相談）
②子どもたちの見守り・食事介助：16時30分～19時（時間は応相談）
- 場所／おでかけひろばまーぶる 2階（瀬田 2-25-10）
- 交通／東急田園都市線用賀駅徒歩15分、二子玉川駅徒歩20分
東急大井町線上野毛駅徒歩20分
- 条件／立ったり座ったり、足腰に自信がある方。交通費の支給はありません。
- 問合せ／NPO法人せたがや子育てネット 担当：後藤
TEL：03-6338-2823 メール：marble@setagaya-kosodate.net

世田谷区いずみ学級（知的障害者の青年学級）でボランティアしませんか？

いずみ学級は、知的障害のある人たちと、彼らを支え共に学び、活動するボランティアにより運営する学級です。一年を通してレクリエーションやクラブ活動、バスハイク、クリスマス会、ミーティングなどの活動をしています。学生や社会人、主婦など、老若男女問わずさまざまな人たちがボランティアに参加しています。資格等は不要です。知的障害のある人たちと関わることに関心のある方なら、誰でも参加できます。

ボランティアの募集は年間を通じて行っています。詳細は世田谷区公式ホームページから、ページIDに3587を入力してご覧ください。

- 日時／月1～2回、日曜の9時50分～15時30分
- 場所／世田谷中学校、八幡中学校、芦花中学校の3ヶ所で実施（外出行事もあります）
- 交通／世田谷中学校：東急世田谷線若林駅徒歩10分
八幡中学校：東急大井町線九品仏駅徒歩8分
芦花中学校：京王線芦花公園駅徒歩8分
- 問合せ／世田谷区教育委員会事務局生涯学習課 いずみ学級担当
TEL：03-3429-4259

小学1年生の送迎ボランティアを募集

小学1年生で、知的障害がある女の子の学校への送迎を手伝ってくださる方を募集しています。自宅からバス停まで、朝の送りをお願いします。週1回から、いずれの日でも構いませんので、お手伝いくださると助かります。明るくて元気なお子さんです。お気軽にお問い合わせください。

- 日時／月、火、水、金曜のいずれか。朝7時45分～8時30分頃（週1でもOK）
- 場所／自宅から環八沿いのバス停まで
- 交通／自宅は京王線千歳烏山駅から徒歩5分ほど
- 条件／女性希望、優しく接してくださる方。報酬1,200円/回（予定）
- 問合せ／烏山ボランティアビューロー
TEL：03-6909-0333 メール：karasubora@otagaisama.or.jp

【急募】知的障害者の介助者募集

下馬地域を中心に、知的、重複障害者が単身で生活しており、当方がヘルパー派遣して生活支援を行っています。この度、50代の女性障害者の土曜、日曜の昼間の買い物、昼食などに付き添っていただける方を募集します。身体介護はありません。お話など楽しい方です。ヘルパー資格取得受講助成制度あり。詳細はお問い合わせください。

- 日時／土曜、日曜の昼間の買い物
- 場所／三軒茶屋周辺
- 交通／東急田園都市線・世田谷線三軒茶屋駅下車
- 問合せ／特定非営利活動法人ガチャパンとともに生きる会 担当：酒井
TEL：070-5563-1475 メール：gatyaban1@gmail.com

北沢ボランティアビューロー改修工事に伴う長期休館のお知らせ

北沢ボランティアビューローの改修工事は順調に進んでいます。仮事務所では、会議室の貸出を休止しますが、他の窓口業務を行っています。

- 仮事務所での執務／2026年3月まで（予定）
- 場所／世田谷区梅丘分庁舎（松原6-3-5）
- 交通／小田急線梅ヶ丘駅北口下車徒歩2分
- 開館日&時間／月～金曜日10時～17時
- TEL：03-3420-2520 FAX：03-3706-2854 メール：kitabora@otagaisama.or.jp

上記掲載記事は11月13日時点の情報です。
変更となる場合がありますので、詳細は問合せ先へご確認ください。

2025 年度 防災シンポジウム「災害時のトイレ問題を考える」

～トイレだけは我慢できない！～ 一緒に考えましょう、災害時のトイレのこと。
今回のシンポジウムは「災害時のトイレ問題を考える」と題し、マンホールトイレと携帯トイレのスペシャリストをお招きし、災害時のトイレについて一緒に考えます。

- 日時／2026 年 1 月 12 日（月祝）13 時 30 分～15 時 30 分 ※13 時開場
- 会場／北沢タウンホール（北沢 2-8-18）
- 交通／小田急線・京王井の頭線 下北沢駅下車徒歩約 5 分または、小田急バス（下 61）北沢タウンホール下車すぐ
- 参加費／無料
- 定員／200 名（先着）
- 申込／1 月 10 日（土）までに、右記の二次元コードを読み込むか、
せたがや災害ボランティアセンターホームページ内の応募フォームからお申込みください。
※手話通訳付 ※ひととき保育（先着 5 名）
- 問合せ／せたがや災害ボランティアセンター TEL：03-5712-5101
メール：saigai-info@otagaisama.or.jp



傾聴ボランティア養成講座 @ 世田谷ボランティアセンター 参加者募集（全 5 回）

個人の方と対面で継続的に行う、傾聴ボランティア活動のための講座です。話すこと・聴くことについて、体験学習を通して、グループで考え、感じながら学んでいきます。あなたも傾聴ボランティア活動への一歩を踏み出してみませんか？

- 日程／2026 年 2 月 6 日、13 日、20 日、27 日、3 月 6 日のいずれも金曜全 5 回
- 時間／13 時 30 分～16 時 30 分
- 会場／世田谷ボランティアセンター（下馬 2-20-14）
- 交通／東急田園都市線・世田谷線三軒茶屋駅下車徒歩約 12 分
- 対象／全回参加できる方。講座修了後、傾聴ボランティア活動を始められる方
- 参加費／8,000 円（初回時）
- 定員／18 名 ※定員になり次第締め切ります。
- 申込／右記の二次元コードを読み込み、お申込みください。
- 申込開始日／2026 年 1 月 9 日（金）11 時～
- 問合せ／世田谷ボランティアセンター TEL：03-5712-5101
担当：小畑・原口・近藤



「在宅避難」に関するパネルディスカッションを開催します

実際に在宅避難を経験された方々の体験談をもとに、「自宅で避難する」という選択肢や、地域で支え合う防災のあり方を考えるパネルディスカッションです。

- ・第 1 部：在宅避難の体験談・福島県いわき市、宮城県石巻市での体験談（オンライン登壇）
- ・第 2 部：在宅避難の実践や課題についてのパネルディスカッション
- 日程／2026 年 1 月 31 日（土）14 時～16 時（開場 13 時 40 分）
- 会場／烏山区民会館 3 階集会室（南烏山 6-2-19）
- 交通／京王線 千歳烏山駅下車徒歩約 1 分
- 参加費／無料 どなたでもご参加いただけます。
- 定員／100 名まで
- 申込／右記の二次元コードを読み込み、お申込みください。
※手話通訳付 車いすスペースあり
- 問合せ絵／特定非営利活動法人せたがや防災士会
担当：高橋 メール：info@seta-bou.org



リサイクル市（バザー） 提供品受付のお知らせ@世田谷ボランティアセンター

世田谷ボランティア協会では、みなさまからご提供いただいた品物をリサイクル市（バザー）で販売し、その売上金を世田谷ボランティア協会が行うボランティア活動推進のための、さまざまなプログラム運営費用にあてさせていただきます。ご協力をお願いします。

●回収日時／12月6日（土）、2026年1月10日（土）、2月7日（土）

10時～17時30分

●回収対象／衣類、帽子、カバン、ベルト、ハンカチ、アクセサリ、靴下（未使用）、生活雑貨、おもちゃ、ぬいぐるみ 他

●交通／東急田園都市線・世田谷線三軒茶屋駅下車徒歩約12分

●会場／世田谷ボランティアセンター（下馬2-20-14）

TEL：03-5712-5101

もっと語ろう不登校 part.306

これまで31年間にわたって、さまざまな方々の分かち合いの場となってきました。「自分だけではなかったんだ」と知るだけで心が軽くなります。初めての方も、お誘い合わせの上、どうぞお気軽にご参加ください。

●日時／12月6日（土）14時～

●場所／人の泉・オープンスペース”Be!”（世田谷区赤堤1-15-13）、またはZOOM会議

●交通／小田急線豪徳寺駅徒歩6分

●問合せ／世田谷こどもいのちのネットワーク第3分科会「もっと語ろう不登校」担当 佐藤

TEL：090-9248-1355 メール：yurinoki11513@gmail.com

個別のサポートを必要としている方、ご相談ください

世田谷ボランティア協会では、ボランティアの力を必要としている方と、ボランティアをつなぐ橋渡しをしています。困りごとを抱えていたり、どこに連絡したら問題を解決できるのかわからないという方は、ぜひご相談ください。電話でお話ししながら、どんなことができそうか、どんな解決方法がありそうか、一緒に考えます。

●問合せ／世田谷ボランティアセンター TEL：03-5712-5101

メール：v-soudan@otagaisama.or.jp

市民活動・NPO 相談

世田谷区内で活動を始めたい方や、すでに活動している方を対象に団体、個人を問わず、グループ・団体、法人の立ち上げや運営に関する基礎的な相談・情報提供を行っています。相談をご希望の方は問合せください。また会計、税務、契約、社会保険、雇用、法律の専門相談も行っています。（原則として事前予約制です）

●問合せ／最寄りのセンター、および各ビューローにご連絡ください。

電話番号は裏表紙参照、専門相談はセンターにお問い合わせください。

AI システムによるマッチングサイトのお知らせ

「趣味や技術、経験を生かしたい」「地域で活動したい」という、ボランティア活動をしたい方の経験や意欲などと、サポートを求める方や団体などを、東京大学先端科学技術研究センターが開発したAIシステムによるマッチングサイト（世田谷版G B E R「ジーバー」）で結び付け、経験や希望に合ったボランティア活動を紹介します。

詳細は右記二次元コードからご覧ください。



上記掲載記事は11月13日時点の情報です。
変更となる場合がありますので、詳細は問合せ先へご確認ください。

世田谷ボランティア協会の活動・支援拠点



相談・お問い合わせ先

- ボランティアについて ▶ 【世田谷ボランティアセンター、各ボランティアビューロー】
災害ボランティアについて ▶ 【せたがや災害ボランティアセンター】
リハビリについて ▶ 【ケアセンターふらっと、ケアセンター with】
訪問介護について ▶ 【ケアステーション連】
介護プランについて ▶ 【ケア相談センター結】
障害について ▶ 【ぼーとせたがや、スペース ココカラ。】

＼協会職員大募集／
作業療法士 訪問介護員
支援員 相談員

寄付で社会を
ご寄付のお願い

お支払い方法が
選べます。

- ・ クレジットカード
- ・ Amazon Pay
- ・ 銀行振込

寄付金控を受けられます



ホームページ



Facebook



Instagram

本誌掲載記事の無断転載を禁じます。